

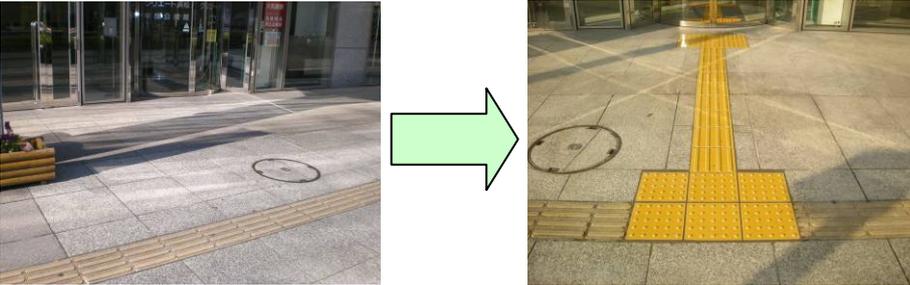
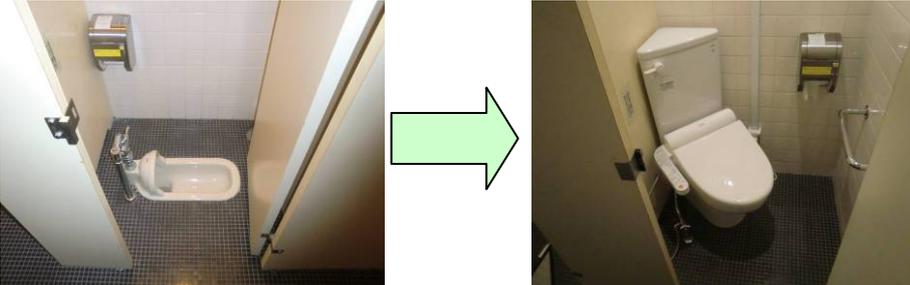
項目	地震対策推進事業						都市整備部
							建築行政課
24 事業費 ( 千円 )	内容 ( 千円 )	旅費	需用費	役務費	委託料	使用料	補助金
203,530		386	1,012	732	11,250	70	190,080

目的	<p>予想される東海地震等から市民の生命や財産を守るため、地震発生時における既存建築物の倒壊等による災害の防止をはじめ、震災時の緊急交通の確保や土砂災害による被害の防止を図る。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築物の耐震改修の促進に関する法律</li> <li>・ 浜松市耐震改修促進計画 ( 住宅の耐震化率を国・県と同様に H27 年度目標 90% に対し、H22 末時点、浜松市は 84% )</li> </ul>
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 わが家の専門家診断事業 11,250 千円 ( 250 件 ) 耐震診断補強相談士の無料派遣</li> <li>2 木造住宅補強計画策定事業 24,960 千円 ( 260 件 ) 旧構造基準で建築された既存木造住宅の補強計画作成費用の一部助成</li> <li>3 木造住宅耐震補強助成事業 139,000 千円 ( 一般 160 件・高齢者等 140 件・緊急対策助成分 140 件 ) 耐震診断の結果、倒壊又は破壊の危険性がある建物の耐震補強工事費用の一部助成</li> <li>4 建築物耐震診断事業 9,900 千円 ( 21 件 ) 旧構造基準で建築された既存建築物 ( 既存木造住宅を除く ) の耐震診断費用の一部助成</li> <li>5 建築物補強計画策定事業 5,600 千円 ( 3 件 ) 旧構造基準で建築された木造住宅以外の既存建築物の補強計画作成費用の一部助成</li> <li>6 ブロック塀等耐震化促進事業 5,400 千円 撤去 地震発生時に倒壊等の危険性のあるブロック塀等の撤去工事費用の一部助成 ( 60 件 ) 改善 避難路等に面するブロック塀等を安全な塀に改善する工事費用の一部助成 ( 10 件 )</li> <li>7 がけ地近接危険住宅移転事業 5,220 千円 ( 1 件 ) がけ地の崩壊等により住民の生命に危険を及ぼす区域において、危険住宅の移転費用の一部助成</li> <li>8 事務費 2,200 千円</li> </ol>

項目	公共建築物長寿命化推進事業					都市整備部	
						公共建築課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	工事費	委託料	その他			
600,650		480,000	120,000	650			

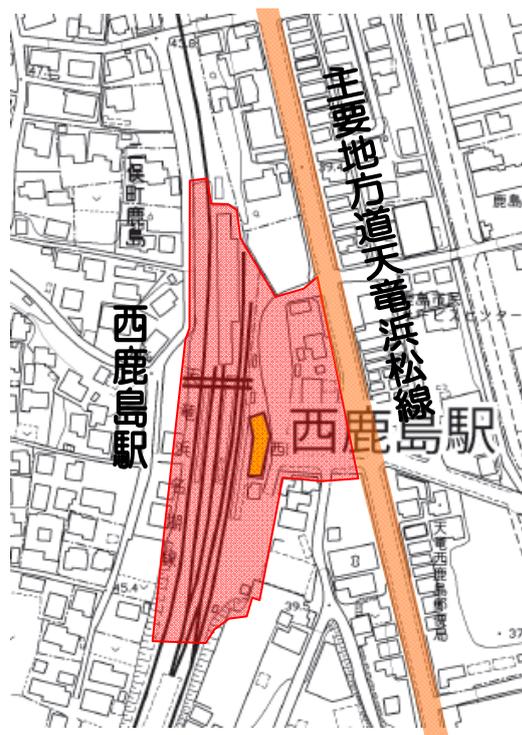
目的	<p>建築より年数の経過した公共建築物について、外壁の打診検査を行うとともに、計画的な修繕を行うことにより、利用者の安全で安心な利用及び施設の保全に努め、長寿命化を図る。</p>	
背景	<p>建築より 30 年を超える施設が全公共施設の半数程度あり、老朽化が進んでいる。</p>	
内容	<p><b>1 外壁打診検査 100,000 千円 (委託料)</b>                  平成 20 年の建築基準法告示の改正に伴い平成 25 年度までに、建築後 10 年を経過した建物のタイル・モルタルの落下を防ぐための壁面の打診検査を行う。</p> <p><b>2 長寿命化工事 500,000 千円 (工事費 480,000 千円、委託料 20,000 千円)</b>                  施設の保全工事費・改修工事費を一元化し、外壁や屋上防水など施設本体へ影響のある部分や、大型空調設備や受変電設備などを、計画的に修繕・改修することにより施設の保全に努め長寿命化を図る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>外壁打診検査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>長寿命化工事 (外壁改修)</p> </div> </div>	

項目	公共建築物ユニバーサルデザイン推進事業					都市整備部	
						公共建築課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	旅費	需用費	役務費	使用料	工事費	
35,000		37	20	58	20	34,865	

目的	公共建築物のユニバーサルデザイン化を図るために、既存の公共建築物の改修を行い、すべての人が暮らしやすい自立型の社会を構築する。
背景	公共建築物について、平成 19 年度に策定した「浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン基本計画」及び「浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン化推進計画」等に基づき、段階的かつ計画的にユニバーサルデザイン化を推進する。
内容	<p>福祉交流センター等の敷地出入口から玄関までの経路の整備 (アクセス性の向上) と、公民館のトイレの整備 (利用快適性の向上) を行う。</p> <p><b>対象施設</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①主に高齢者や障害のある人が多く利用する施設</li> <li>②子育てをしている人が利用する施設</li> <li>③車いすでの利用者が多い施設</li> </ul> <p><b>整備内容</b></p> <p>〈アクセス性の向上〉 福祉交流センター外 5 施設 敷地内段差解消、誘導ブロック設置、夜間明るさ確保、手摺設置</p>  <p>〈利用快適性の向上〉 天竜公民館外 15 施設 トイレの整備 (洋式化) 等</p> 

項目	西鹿島駅周辺まちづくり計画策定事業					都市整備部	
						都市計画課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	需用費	役務費	委託料	使用料		
2,855		20	15	2,800	20		

目的	西鹿島駅周辺の施設再配置などにより、交通結節点の利便性向上、機能強化を図るための計画を策定する。	
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>西鹿島駅周辺は「浜松市総合計画」「都市計画マスタープラン」「総合交通計画」等の上位計画において、地域交流拠点として位置づけ</li> <li>駅前広場はS18年に都市計画道路の一部として都市計画決定されているが、未整備であり、交通結節点としての機能強化が必要</li> </ul>	
内容	<p><b>1 今までの経緯</b></p> <p>20年度 西鹿島駅周辺整備基本構想策定調査</p> <p>22年度 駅周辺の位置づけや整備課題について地域住民とタウンミーティング</p> <p>23年度 地元まちづくり組織設立、交通量調査、駅前広場基本計画案（規模）</p> <p><b>2 事業内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり協議会運営</li> <li>○駅前広場基本計画案作成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場配置計画作成</li> <li>・関係部局、電車・バス・タクシー事業者等との調整</li> </ul> </li> </ul>	



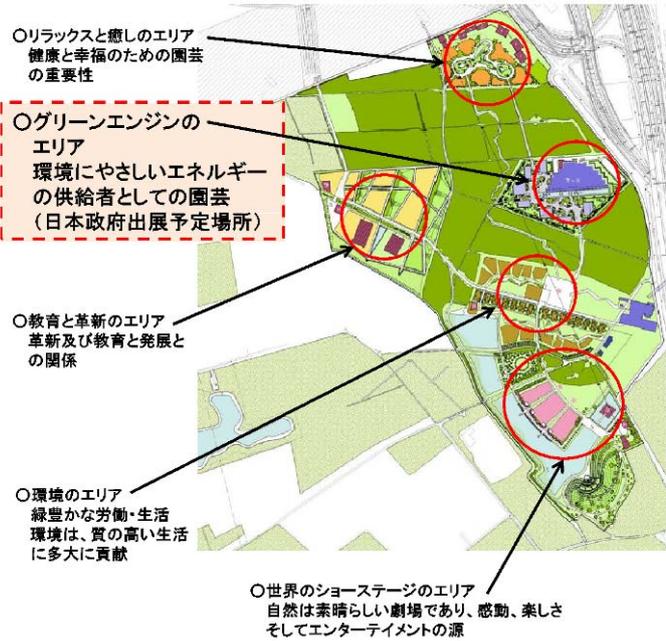
項目	浜松駅周辺交通円滑化事業						都市整備部
							交通政策課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料					
26,000		26,000					

目的	<p>駅周辺の現況交通を把握し、改良の方向性を示すとともに、自動車交通の円滑化及び歩行者回遊動線の改善を図る。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民の声」からも、駅南口の混雑、送迎レーンの不足の意見がある。</li> <li>・平成23年11月9日には、遠鉄百貨店新館がオープンするなど、周辺施設への来客車両混雑が増幅。</li> </ul>
内容	<p><b>1 施設改良計画</b></p> <p>駅周辺の主要施設である駅前広場の「魅力向上、使い易さ向上」について、市民等の意見を交えて策定する基本構想を実現するため、必要となる施設改良計画を策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○南口広場改良概略設計</li> <li>○駅南地下駐車場改良概略設計、実施設計</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①浜松駅南口混雑状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②浜松駅南口混雑状況</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>③駐車場出口混雑状況</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>④浜松駅北口混雑状況</p>  </div> </div>

項目	環状路線バス実証運行事業					都市整備部	
						交通政策課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事請負費				
15,000		13,200	1,800				

目的	<p>使いやすく持続可能な公共交通を実現するため、本市の公共交通ネットワークの骨格路線である環状バス路線の一部を実証運行する。</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 22 年 5 月 浜松市総合交通計画の策定</li> <li>総合交通計画における将来公共交通ネットワークとして環状バス路線を位置づけ</li> </ul>
内容	<p>環状バス路線の一部 ( JR 天竜川駅 ~ 遠鉄上島駅間 ) において実証運行を行うもの。利用状況に応じて路線や停留所、ダイヤの見直しなどの運行改善を実施しながら、2 年間 ( H24.10 ~ H26.9 を予定 ) の実証運行を行う。</p> <p>1 運行区間 JR 天竜川駅 ~ イオン市野 SC ( ~ 遠鉄上島駅 ) 約 3.7(5.6) k m 現行バス路線 ( イオン市野 SC ~ 遠鉄上島駅 ) と合わせて環状バス路線を形成</p> <p>2 運行概要 本数 : 1 ~ 2 本 / 時 時間 : 7 ~ 20 時 ( 予定 )</p> <div style="text-align: center;"> <p>運行区間</p> <p>至 西鹿島駅</p> <p>上島駅 (遠鉄鉄道)</p> <p>イオン市野ショッピングセンター</p> <p>浜松駅 (JR) 天竜川駅</p> <p>至 東京駅</p> </div>

項目	フェンロー国際園芸博覧会（フロリアード 2012）について						都市整備部
							緑政課
24 事業費（千円）	内容 （千円）	委託料					
3,000		3,000					

目的	オランダで開催される 2012 年フェンロー国際園芸博覧会において、日本政府屋内出展ブース内に浜松市の作品を出展し、「花と緑のまち・浜松」を世界に向けて発信する。
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロリアードは、園芸先進国オランダが 10 年に 1 回開催する国際園芸博覧会で、日本政府による出展に加え、県、政令市等も出展協力をしている。</li> <li>・浜名湖花博、モザイ博を経た「花と緑のまち浜松」として、浜松市を世界に向けてアピールする絶好の機会である。</li> </ul>
内容	<p>1 フェンロー国際園芸博覧会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10年に一度開催される世界最大規模の園芸博覧会</li> <li>・今回は平成24年4月5日から10月7日の204日間開催</li> </ul> <p>2 出展概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出展場所 日本政府屋内ブース内 約35㎡</li> <li>・対象団体 地方自治体、花卉等園芸業界関連企業・団体</li> </ul> <p>※出展者の決定については、日本政府出展事務局と農林水産省との協議による。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>オランダ</p> <p>ドイツ</p> <p>フェンロー</p> <p>ベルギー</p> </div> <div style="width: 50%;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>○リラックスと癒しのエリア 健康と幸福のための園芸の重要性</li> <li>○グリーンエンジンのエリア 環境にやさしいエネルギーの供給者としての園芸（日本政府出展予定場所）</li> <li>○教育と革新のエリア 革新及び教育と発展との関係</li> <li>○環境のエリア 緑豊かな労働・生活環境は、質の高い生活に多大に貢献</li> <li>○世界のショーステージのエリア 自然は素晴らしい劇場であり、感動、楽しさそしてエンターテインメントの源</li> </ul> </div> </div>

項目	セントラルパーク構想推進事業					都市整備部	
						緑政課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	旅費	委託料				
58,541		41	58,500				

目的	政令指定都市に相応しい「セントラルパーク」として、歴史的・文化的まちづくりの観点から、次の100年を見据えた浜松城を中心とする区域全体の再整備を推進する。
背景	さらなる都市発展を目指すうえにおいて、魅力ある都市・都心づくりが重要な政策課題となっている。
内容	<p>平成23年度に策定する基本構想をもとに、浜松城を中心とする区域の再整備に関する基本計画を作成し、将来に向けた都市の顔づくりを進める。</p> <p><b>1 事業内容</b></p> <p>(1) 市民フォーラムの開催 1,500千円          ・講演会、パネルディスカッション          開催会場は調整中</p> <p>(2) 基本計画の策定          ・セントラルパーク基本計画作成 33,000千円          (公園再整備計画、新美術館・文化センター・小中一貫校の各基本計画)</p> <p>(3) 埋蔵文化財試掘調査 24,000千円          ・旧浜松市体育館用地、作左の森、展望広場 (予定)</p>



項目	浜松城公園整備について						都市整備部	
							公園課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事請 負費					
42,000		5,000	37,000					

目的	<p>天守閣を中心とする 1.8ha を歴史ゾーンと位置付け、浜松城公園の歴史的魅力をより高めるため</p>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜松城公園歴史ゾーン整備基本構想 (20 年度策定済)</li> <li>・浜松城公園歴史ゾーン整備基本計画 (22 年度策定済)</li> <li>・天守門復原及周辺整備工事実施設計 (23 年度策定中)</li> </ul>
内容	<p><b>1 事業内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天守門整備工事</li> </ul> <p><b>2 今後のスケジュール</b></p> <p>24 年度 天守門整備工事 (基礎工事)</p> <p>25 年度 天守門整備工事 (本体工事)</p> <p>26 年度以降 周辺整備、富士見櫓整備ほか</p>



項目	市営住宅ストック総合改善事業					都市整備部	
						住宅課	
24 事業費（千円）	内容 （千円）	委託料	工事請負費	負担金			
205,059		24,652	173,757	6,650			

目的	浜松市営住宅ストック総合活用計画に基づき、既存ストックを効率的・効果的に有効活用する。
背景	本市の市営住宅は、厳しい財政状況下において、需要に的確に対応するため、更新期を迎えつつある老朽化した大量の市営住宅について効率的かつ円滑な更新、長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につなげていくことが求められている。
内容	<p>既存ストックの長寿命化や居住性向上のための改修工事や近年需用の高まった高齢者世帯、子育て世帯への市営住宅供給を行うための個別改善事業を行う。</p> <p><b>1 24 年度事業実施予定か所及び事業費</b></p> <p>①湖東団地 C1 棟個別改善工事（西区湖東町） 57,400 千円 既存の設備更新と間取り変更により、高齢者単身世帯、子育て世帯向けの住宅を提供</p> <p>②田端団地 A 棟給水施設改修工事（西区雄踏町） 19,943 千円 高架水槽方式から安価な加圧給水方式に給水方式を変更</p> <p>③田端団地 E 棟屋上防水改修工事（西区雄踏町） 5,678 千円 経年劣化により老朽化した防水シートの張り替え</p> <p>④第2 浜表団地 F 棟他屋上配管改修工事（西区舞阪町） 9,802 千円 高架水槽方式から安価な加圧給水方式に給水方式を変更</p> <p>⑤中田島団地給水施設改修工事（南区中田島町） 59,300 千円 給水塔による高架水槽方式から直圧方式に給水方式を変更</p> <p>⑥電波障害対策施設撤去工事（中区住吉一丁目外） 24,728 千円 テレビ電波がデジタル化されたため不要となった電波障害対策施設を撤去</p> <p>⑦田組西団地給水管改修工事（天竜区二俣町） 25,380 千円 老朽化した高架水槽から安価な加圧給水方式に変更し、屋内外の給水管を交換</p> <p>⑧大谷団地階段手摺設置工事（天竜区大谷） 2,828 千円 既存の老朽化し危険な木造階段手摺を交換</p>

項目	スマートインターチェンジ推進事業						土木部
							道路課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料					
10,000		10,000					

目的	<p>新東名供用後における交通状況の変化を踏まえ、新たなスマート IC 設置について、必要性と可能性を検討する。</p> <p>また、新東名に設置される浜松 SA スマート IC については、開通後の周辺道路の状況、開通による周辺地域への各種効果について把握する。</p>
背景	<p>スマート IC 制度実施要綱において、スマート IC 開通後においても、継続的に社会便益や安全性についてフォローアップし、見直しを行うこととされている。</p>
内容	<p>1 三方原 PA 他 8,000 千円</p> <p>(1) 新たなスマート IC の必要性・可能性について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通需要予測</li> <li>・設置箇所及び可能性の検討</li> <li>・整備効果</li> <li>・今後の課題、工程の概略検討</li> </ul> <p>(2) 実施計画書 (素案) の作成に必要な項目について、整理・調整、詳細な検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業ヒアリング</li> <li>・周辺住民アンケートの実施</li> <li>・計画交通量の予測、採算性の検討</li> </ul> <p>2 浜松 SA スマート IC 2,000 千円</p> <p>(1) スマート IC 開通後の追跡調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス道路における交通量調査</li> <li>・周辺観光施設等への開通効果調査 (ナンバープレート調査、ヒアリング調査)</li> <li>・周辺企業、輸送業者へのアンケート調査</li> <li>・開通効果の取りまとめ</li> </ul>

項目	橋りょう耐震補強事業					土木部	
						道路課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	使用料及び 賃借料	工事費			
823,000		360,000	14,000	449,000			

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>橋りょうの健全度、耐震性等を把握し、計画的に修繕及び耐震補強対策工事等を進め、災害時等の安全性の向上を図る。</li> </ul>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>浜松市が管理する橋りょうは5,979橋あるが、多くは、1960年～1979年に架橋されており、2020年以降に維持管理費の増大が予想される。</li> <li>緊急輸送道路上に架かる橋りょうには、現行の耐震基準を有していないものが数多く存在するため、早期に耐震補強を行う必要がある。</li> </ul>
内容	<p><b>1 橋りょう長寿命化対策調査 30,000千円</b>                  道路ネットワーク上以外の橋で、橋長15m以上、竣工から30年経過した橋の現状を把握し、効率的な維持管理を行うため、橋梁点検の専門技術や知識の有る者の目視により183橋の点検を実施。</p> <p>※道路ネットワークとは・・・                  災害に強く、緊急時に移動が可能な道路の確保を主とした路線                  道路ネットワーク上に架かる橋の調査はH23までに終了</p> <p><b>2 補強工事 793,000千円</b>                  (国)152号馬込橋ほか23橋の設計、工事を実施</p> <p style="text-align: center;"><b>耐震補強工事</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>実施前</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: blue;">➔</div> <div style="text-align: center;">  <p>実施後</p> </div> </div>

項目	河川管理施設長寿命化及び耐震化事業 (河川管理対策・ポンプ場等維持管理事業の一部)						土木部
							河川課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料					
10,700		10,700					

目的	<p>河川管理施設の再整備を行うための更新基本計画を作成し、更新時期の集中を避けると共に河川維持予算の平準化を図る。また、ポンプ場等の建物について、耐震化工事を行い、施設及び作業員の安全を図る。</p>																								
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川管理施設は S30～S40 年代にかけて建設したものが多く、更新時期を迎えている。</li> <li>・ポンプ場等の建物については、新耐震設計基準（昭和 56 年 6 月建築基準法施行令改正）を満たしていない。</li> </ul>																								
内容	<p>1 長寿命化事業 8,000 千円</p> <p>(1) 対象施設</p> <table border="0"> <tr> <td>鴨江雨水調整池</td> <td>排水ポンプ 3 台</td> <td>能力</td> <td>50.1 m<sup>3</sup>/分</td> </tr> <tr> <td>中田島団地排水機場</td> <td>排水ポンプ 4 台</td> <td>能力</td> <td>308 m<sup>3</sup>/分</td> </tr> <tr> <td>西部排水機場</td> <td>排水ポンプ 4 台</td> <td>能力</td> <td>1,080 m<sup>3</sup>/分</td> </tr> </table> <p>(2) その他 (今後の予定)</p> <p>H23～：長寿命化計画策定 (H23：鴨江、H24：中田島、H25：西部)</p> <p>H26～：長寿命化対策事業</p> <p>2 耐震化事業 2,700 千円</p> <p>(1) 対象施設</p> <table border="0"> <tr> <td>参野ポンプ場</td> <td>鉄筋コンクリート地上 4 階地下 1 階</td> <td>延床面積</td> <td>4,500m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>中田島団地排水機場</td> <td>鉄筋コンクリート地上 1 階</td> <td>延床面積</td> <td>351m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>西部排水機場</td> <td>鉄筋コンクリート地上 2 階</td> <td>延床面積</td> <td>478m<sup>2</sup></td> </tr> </table> <p>(2) その他 (今後の予定)</p> <p>H24：耐震診断</p> <p>H25～H26：耐震設計(計画・設計)</p> <p>H27～：耐震工事</p>	鴨江雨水調整池	排水ポンプ 3 台	能力	50.1 m <sup>3</sup> /分	中田島団地排水機場	排水ポンプ 4 台	能力	308 m <sup>3</sup> /分	西部排水機場	排水ポンプ 4 台	能力	1,080 m <sup>3</sup> /分	参野ポンプ場	鉄筋コンクリート地上 4 階地下 1 階	延床面積	4,500m <sup>2</sup>	中田島団地排水機場	鉄筋コンクリート地上 1 階	延床面積	351m <sup>2</sup>	西部排水機場	鉄筋コンクリート地上 2 階	延床面積	478m <sup>2</sup>
鴨江雨水調整池	排水ポンプ 3 台	能力	50.1 m <sup>3</sup> /分																						
中田島団地排水機場	排水ポンプ 4 台	能力	308 m <sup>3</sup> /分																						
西部排水機場	排水ポンプ 4 台	能力	1,080 m <sup>3</sup> /分																						
参野ポンプ場	鉄筋コンクリート地上 4 階地下 1 階	延床面積	4,500m <sup>2</sup>																						
中田島団地排水機場	鉄筋コンクリート地上 1 階	延床面積	351m <sup>2</sup>																						
西部排水機場	鉄筋コンクリート地上 2 階	延床面積	478m <sup>2</sup>																						

項目	都市鉄道高架化事業					土木部
						道路課
24 事業費（千円）	内容 （千円）	委託料	工事 請負費	補償金	その他	
1,850,000		1,415,000	413,000	21,000	1,000	

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面鉄道による地域分断の解消と、一体的なまちづくりの促進</li> <li>・踏切箇所における慢性的な渋滞の解消による、交通の円滑化</li> <li>・（都）有玉南中田島線との一体的な整備による、東西都市計画道路の整備促進</li> </ul>										
背景	<p>遠州鉄道鉄道線の新浜松駅から助信駅までの約 2.6 km は、既に高架化が完了しているが、助信駅以北は幹線道路と鉄道が並行して走っているため、踏切による渋滞と、交差点部での事故が発生している。</p>										
内容	<p>助信駅から上島駅付近までの約 3.3 km の区間で、鉄道の高架化と道路の4車線化を同時に行う。</p> <p>平成 24 年度 10 月より、新軌道での鉄道運行開始予定。</p> <p><b>事業概要</b></p> <table> <tr> <td>事業区間</td> <td>助信駅～馬込川北付近</td> </tr> <tr> <td>延長</td> <td>約 3.3 km</td> </tr> <tr> <td>高架化する駅</td> <td>3 駅（助信駅、曳馬駅、上島駅）</td> </tr> <tr> <td>除去する踏切</td> <td>21 箇所</td> </tr> <tr> <td>立体交差となる道路</td> <td>17 路線（都市計画道路 3 路線、市道 14 路線）</td> </tr> </table> <p>※ 歩行者専用踏切 4 箇所は廃止</p>  <p>・助信駅周辺 現況</p>	事業区間	助信駅～馬込川北付近	延長	約 3.3 km	高架化する駅	3 駅（助信駅、曳馬駅、上島駅）	除去する踏切	21 箇所	立体交差となる道路	17 路線（都市計画道路 3 路線、市道 14 路線）
事業区間	助信駅～馬込川北付近										
延長	約 3.3 km										
高架化する駅	3 駅（助信駅、曳馬駅、上島駅）										
除去する踏切	21 箇所										
立体交差となる道路	17 路線（都市計画道路 3 路線、市道 14 路線）										

項目	天竜川駅周辺整備事業						土木部	
							道路課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事 請負費	役務費				
110,000		50,800	59,000	200				

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺や駅アクセス道路などの整備により、公共交通利用の向上を図る。</li> <li>・ 周辺地域住民の日常生活における利便性を高め、暮らしやすい地区環境を創出する。</li> </ul>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 天竜川駅には北側改札口しかなく、駅南地域からの利用者は迂回を強いられている。</li> <li>・ 当該駅はバリアフリー法に基づく対策が施されていないため、鉄道事業者との協力により一体的に整備する必要がある。</li> <li>・ 地元要望書 (署名者 7,709 人) が提出されている。</li> </ul>
内容	<p>交通結節点としての J R 天竜川駅周辺整備を実施するもの。</p> <p><b>1 事業概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査期間 平成 19 年度～平成 25 年度 基本調査、概略設計、埋蔵文化財調査、都市計画決定図書作成</li> <li>・ 整備期間 平成 26 年度～平成 30 年度 自由通路新設、橋上駅舎化、駅前周辺整備</li> </ul> <p><b>2 事業内容及び事業費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 埋蔵文化財調査 99,000 千円</li> <li>・ 仮駐輪場設置 11,000 千円</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>試掘による採取された遺物 (土器ほか)</p> </div>

項目	浄化槽助成事業					上下水道部	
						お客さまサービス課	
24 事業費 ( 千円 )	内容 ( 千円 )	旅費	需用費	役務費	使用料	補助金	
423,559		80	340	184	26	422,929	

目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため														
背景	浜松市循環型社会形成推進地域計画 ( 平成 23 年度 ~ 平成 30 年度 )														
内容	<p>1 助成要件</p> <p>( 1 ) 新築等により合併処理浄化槽を設置する市民に対して助成</p> <p>( 2 ) 単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する場合には一定額を加算</p> <p>( 3 ) 特に水質を保全すべき浜名湖や天竜川の水域 ( 北区・天竜区の全域、その他の区の一部 ) は、助成対象浄化槽を高度処理型合併処理浄化槽に限定</p> <p>2 補助対象件数 824基 ( 予定 )</p> <p>補助件数の推移 ( 実績ベース )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 19 年度</th> <th>平成 20 年度</th> <th>平成 21 年度</th> <th>平成 22 年度</th> <th>平成 23 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>675 基</td> <td>689 基</td> <td>671 基</td> <td>665 基</td> <td>812 基</td> </tr> </tbody> </table>					平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	675 基	689 基	671 基	665 基	812 基
平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度											
675 基	689 基	671 基	665 基	812 基											

項目	浜北消防署赤佐出張所改修事業 ( 消防庁舎整備事業 )						消防局
							消防総務課
24 事業費 ( 千円 )	内容 ( 千円 )	役務費	委託料	使用料及び 賃借料	工事 請負費	備品 購入費	
39,828		156	1,265	3,900	33,507	1,000	

目的	老朽化が進む消防庁舎の内装等の修繕を行なうとともに、車庫内の排気対策及び仮眠室の個室化等を図るもの。
背景	仮眠スペースの不足や車庫内の排気対策など、職員の健康と良好な勤務環境の確保が課題であった。
内容	<p>1 庁舎概要 昭和58年竣工 ( 築29年 ) 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建 敷地面積 1,139.06 m<sup>2</sup>、延べ面積 306.97 m<sup>2</sup>、職員数 22名 配置車両 水槽付消防ポンプ自動車・高規格救急自動車</p> <p>2 改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内装改修 庁舎2階から事務所内に通じる階段の勾配が急で出勤時危険なため、傾斜を緩やかにする。また、これに伴う ( 階段延長 ) 事務所レイアウト変更</li> <li>・車庫内換気装置 車両の排気ガスの充満を防ぐため設置</li> <li>・仮眠室個室化 現在、仮眠室スペースの不足により書庫を仮眠室としているため、1階を救急隊用・2階を警防隊用の仮眠室として整備する。</li> </ul> <p>3 事業計画 平成23年度 実施設計 平成24年度 改修工事</p>

項目	自家給油施設整備事業 ( 消防庁舎整備事業 )						消防局
							消防総務課
24 事業費 ( 千円 )	内容 ( 千円 )	委託料	工事 請負費				
22,160		2,160	20,000				

目的	大規模災害時において消防車両等の燃料を確保するために、北消防署曳馬野出張所へ自家給油施設を整備するもの。
背景	大規模災害時の緊急車両への安定した給油体制が課題となる。
内容	<p>1 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設概要 給油スペース 224 m<sup>2</sup>、地下タンク 2 万リットル</li> <li>・事業計画 平成 2 4 年度 設計、建築工事</li> </ul> <p>2 全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防局備蓄必要燃料 6 万リットル ( 常備車両及び庁舎の発電設備の 3 日分 )</li> <li>・自家給油施設整備計画 平成 2 1 年度 中消防署鴨江出張所 ( 2 万リットル ) 平成 2 4 年度 北消防署曳馬野出張所 ( 2 万リットル ) 平成 2 6 年度 西消防署大平台出張所 ( 2 万リットル )</li> </ul> <p>3 運用</p> <p>大規模災害時には、消防車両への給油を優先するが、平常時においては浜松市全体の公用車燃料としても活用し、燃料費節減を図るもの。</p>

項目	西消防署大平台出張所建設事業						消防局
							消防総務課
24 事業費 ( 千円 )	内容 ( 千円 )	委託料	役務費				
23,224		23,000	224				

目的	<p>均衡のとれた署所配置及び効果的な消防救急体制を実現させるため、浜松市西区佐鳴湖西岸地域に、西消防署大平台出張所として新たに整備するもの。</p>
背景	<p>浜松市西区佐鳴湖西岸地区は、商業施設の立地及び宅地開発の発展による人口増加に伴い、救急需要が拡大している。</p> <p>この地区は、過去から消防施設の空白化が課題となっている。</p>
内容	<p>1 事業計画</p> <p>平成23年度 地質調査</p> <p>平成24年度 実施設計</p> <p>平成25年度 建設工事</p> <p>平成26年度 運用開始 ( 4月 ) 可美出張所 ( 解体 ) 及び雄踏出張所の廃止</p> <p>2 新庁舎概要 ( 予定 )</p> <p>建設候補地 浜松市西区大平台三丁目</p> <p>建築規模 敷地面積 2,360 m<sup>2</sup></p> <p>鉄骨造 延べ面積 870 m<sup>2</sup> 2階建て</p> <p>自家給油施設 ( ガソリン・軽油計 2万 )</p> <p>配置人員 消防職員 24名予定</p> <p>配置車両 消防ポンプ自動車 1台</p> <p>水槽付消防ポンプ自動車 1台</p> <p>高規格救急自動車 1台</p> <p>予備消防ポンプ自動車 1台、特殊災害対応車 2台</p>

項目	消防車両・救急自動車・消防団車両の整備について					消防局
						警防課
24 事業費 ( 千円 )	内容 ( 千円 )	旅費	需用費	役務費	備品購入費	
346,139		149	2,901	154	342,935	

目的	計画的に消防車両等を更新し、迅速かつ、確実な災害及び救急体制の強化を図るもの			
背景	更新基準に該当する車両のうち、使用状況、修理状況及び程度等を考慮し、計画的に車両の更新を図る			
内容	1 平成 24 年度更新車両 合計 10 台 ( 消防費にて 7 台更新 )			
	車種等	台数	予算額	
	水槽付消防ポンプ自動車 ( 中タンク車 )	1	34,608	
	救助工作車 ( 東救助工作車 )	1	80,537	
	はしご付消防ポンプ自動車 ( 庄内はしご車 )	1	171,538	
	高規格救急自動車 ( 東救急、曳馬野救急 )	2	28,456	JAより車両寄贈 車載資機材及び艀装等に要する経費
	消防団ポンプ自動車 ( 北区・天竜区支団 )	2	30,961	
	消防団ポンプ自動車 ( 中区・西区・南区支団 )	3	39	消防費:リサイクル料のみ措置 基地周辺整備事業で購入48,000千円
	合計	10	346,139	
2 車両の保有台数 ( 平成 23 年 4 月 1 日現在 )				
車種等	保有台数			
消防ポンプ車・救助工作車ほか	55			
特殊車 ( はしご車、支援車ほか )	17			
指揮車等	9			
救急自動車	28			
その他普通車 ( 広報車、連絡車ほか )	33			
緊急消防活動二輪車	2			
消防団車両	174			
合計	318			

項目	学校規模適正化推進事業				学校教育部
					教育総務課
24 事業費( 千円 )	内容 ( 千円 )	使用料及 び賃借料	報償費	その他	
2,222		1,076	600	546	

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童、生徒、幼稚園児の教育環境向上のため、地域、保護者、学校と連携して学校規模の適正化を推進する。</li> <li>・ 3 地域（引佐北部、庄内及び中部中学校区）に小中一貫校を設置（予定）し、小中一貫教育のモデル校として位置づけ、小中一貫教育を推進する。</li> </ul>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浜松市学校・幼稚園規模適正化基本方針</li> <li>・ 浜松市小中一貫教育基本方針</li> </ul>
内容	<p>1 統廃合の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模校（6 学級以下）・園（1 学級 10 人未満）で学校規模適正化に向けた取組の説明と意見交換会の開催 （H23.5.1 現在:対象小学校 31 校、中学校 4 校、幼稚園 16 園）</li> <li>・ 学校規模適正化推進だよりの発行</li> </ul> <p>2 統廃合の状況</p> <p>(1) 引佐北部地区小中一貫校の設置（平成 24 年 4 月開校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「引佐北部小中学校」開校リーフレットの作成</li> </ul> <p>(2) 庄内地区小中一貫校開校準備（平成 26 年 4 月開校予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中一貫校開校準備会の開催、校章・校歌の作成、小中交流事業の実施など</li> </ul>

項目	教育指導支援員配置事業一覧	学校教育部
		教職員課、指導課

## 1 目的

子ども一人ひとりにきめ細かな指導・支援を実施し、学校生活への円滑な適応を図るため、平成11年度から教育指導支援員等を配置してきた。平成24年度は、発達支援教育指導員（小中学校）及び理科支援員をこれまで以上に充実させて配置する。

## 2 事業内容

事業名 / 支援員名	内 容	事業費 (千円)	配置数 (人)	
1 発達支援教育指導員等配置事業（教職員課）				
小学校	スクールヘルパー	発達学級又は通常学級に在籍する学習上困難を示す児童に対し、日常生活の指導・補助を行う。	41,540	67
	発達支援教育指導員	通常学級に在籍する発達障害の児童に対し、取り出し指導を行う。24年度から新規で3校に配置。	32,000	40
中学校	スクールヘルパー	発達学級又は通常学級に在籍する学習上困難を示す生徒に対し、日常生活の指導・補助を行う。	9,920	16
	発達支援教育指導員	通常学級に在籍する発達障害の生徒に対し、取り出し指導を行う。24年度から新規で2校に配置。	13,600	17
2 学校教育指導支援員配置事業（教職員課）				
小学校	学校図書館補助員	学校図書を効率的に整理・整頓し、図書情報を提供する。	40,145	104
	小学校学習支援員	チームティーチングを行い、基礎学力の定着及び学力向上を図る。複式学級等指導支援員配置校を除き全小学校に配置。	86,600	112
	複式学級等指導支援員	教科指導を行い、複式学級の教育の充実を図る。	12,100	11
	小学校指導支援員	指導上の諸問題により緊急対応を要する学校において、問題の早期解決の支援・学校環境の確保を行う。	2,288	2
中学校	学校図書館補助員	学校図書を効率的に整理・整頓し、図書情報を提供する。	18,221	48
	養護教諭補助員	養護教諭の業務を補佐し、不登校などが原因で保健室登校する子どもの生活・学習指導を行う。	8,000	10
	中学校指導支援員	生徒指導上の諸問題により緊急対応を要する学校において、問題の早期解決の支援・学校環境の確保を行う。	6,864	6
幼稚園	キッズサポーター	多人数学級： 3歳児の26人以上の学級、4・5歳児の31人以上の学級に配置。 障害児在籍： 心身に障がいがある園児が在籍する園に配置。 複式学級： 複式学級における教育の充実を図るため配置。 預かり保育： 預かり保育実施園における教育の充実を図るため配置。	95,015	144
3 外国人子ども教育支援推進事業（指導課）				
小中	外国人児童生徒就学サポーター・外国人児童生徒就学支援員	外国人児童生徒が多く在籍する小・中学校に母国語を話せるサポーター・支援員を派遣・配置。	72,380	54
中	指導補助者	外国人生徒が多く在籍する中学校で日本語指導、教科学習支援を行う。	6,720	8
4 理科支援員配置事業（指導課）				
小	理科支援員	小学校3～6年生の理科授業（観察・実験活動）の充実を図る。	16,361	35
合 計			461,754	674

上記のうち、緊急雇用創出事業活用分

スクールヘルパー10人（小学校8人、中学校2人）キッズサポーター（障害児在籍）15人

項目	理科支援員配置事業				学校教育部
					指導課
24 事業費(千円)	内容 (千円)	報償費	その他		
16,949		16,361	588		

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生の理科授業の観察・実験活動の充実により、子どもの理科に対する興味関心を引き出し、理系学力の向上を図る。</li> </ul>
背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>23年度をもって独立行政法人科学技術振興機構からの委託事業が終了する。</li> <li>子どもの理科に対する意欲の向上及び理科室環境整備の向上へとつながったことから、学校や家庭から事業継続を望む声がある。</li> </ul>
内容	<p><b>1 事業内容</b></p> <p>(1) 理科支援員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 理科授業時に観察・実験活動を支援（実験の演示、きめ細かな指導）</li> <li>イ 観察・実験活動の準備、片付け（予備実験、器具の洗浄・整理）</li> <li>ウ 理科室・準備室の環境整備（掲示物作成、器具のメンテナンス等）</li> </ul> <p>(2) 理科支援員コーディネーターの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 理科担当教員に対し、理科授業の進め方を助言（希望校）</li> <li>イ 理科支援員に対し、観察・実験活動の進め方を指導</li> <li>ウ 観察・実験活動に用いる教材開発の支援</li> </ul> <p><b>2 事業計画</b></p> <p>(1) 支援員配置計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 配置校数 35校</li> <li>イ 配置期間 1年間（1校あたり382時間） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年間で市内105小学校を一巡する。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2) 配置対象学年</p> <p>3年生から6年生まで（23年度対象学年 5・6年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学年への配置時間配分は、授業進捗など教育現場の状況により、各学校の判断で実施する。</li> </ul>

項目	学校建設事業一覧	学校教育部
		学校施設課

## 1 目的

児童・生徒・園児の安全を確保するとともに、子どもたちに良好な学習環境を提供するため、市立小中学校及び幼稚園について、老朽化や児童・生徒・園児数等を勘案し、計画的に建設を進める。

## 2 事業内容

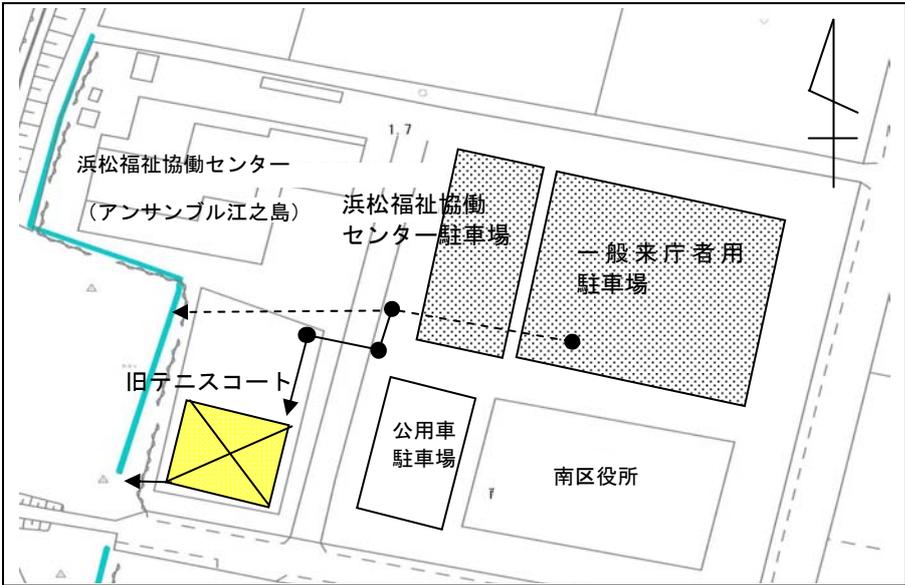
(単位:千円)

事業名(箇所)	事業費	事業内容等
1 小学校建設事業	392,624	
内野小学校	354,199	校舎増築、既存校舎改修等(H25.9供用)
井伊谷小学校	21,200	改築の基本設計
入野小学校	7,400	大規模改造の実施設計
和地小学校	9,000	増築の実施設計
事務費	825	
2 小学校規模適正化事業	555,751	
庄内地区小中一貫校	555,700	校舎増築、既存校舎改修等(H25まで)
事務費	51	
3 中学校建設事業	184,805	
北部中学校	95,647	校舎改築に伴う仮設校舎リース及び開校準備経費(H25.4供用)
細江中学校	3,750	校舎大規模改造に伴う開校準備経費(H25.4供用)
浜北北部中学校	11,000	大規模改造の実施設計
引佐北部中学校	74,000	校舎解体工事
事務費	408	
合計	1,133,180	

項目	庄内地区小中一貫校建設事業				学校教育部
					学校施設課
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	工事請負費	委託料	賃借料	
555,700		544,000	11,600	100	

目的	全市的に小中一貫教育を推進するとともに、3地域(引佐町北部地区、庄内地区、中部中校区)へ小中一貫校を設置し、モデル校としてその取組や成果を他の小中学校に広める。
背景	・ 浜松市小中一貫教育基本方針
内容	<p><b>1 事業内容</b> 庄内小中一貫校建設工事</p> <p>(1) 所在地 庄内中学校敷地内(西区庄内町100番地)</p> <p>(2) 学級数 12学級(小学校分)</p> <p>(3) 工事概要 増 築 : 校舎RC造3階建3,200㎡ 給食室S造180㎡ その他 : 既存校舎改修、既存プール改修ほか</p> <p><b>2 総事業費 1,389,700千円(国庫補助188,026千円)</b> 平成24年度 555,700千円 平成25年度 834,000千円</p> <p><b>3 事業計画</b> 24~25年度 建設整備工事 26年4月 開校</p> 

項目	南区役所調整池整備事業				南区役所	
					区振興課	
24 事業費 (千円)	内容 (千円)	委託料	工事請負費			
18,200		4,200	14,000			

目的	南区役所の調整池機能を改善するもの。
背景	集中豪雨の際、南区役所一般来庁者用駐車場が冠水し、来庁者が使用できない状態となってしまうことから、浜松福祉協働センター（アンサンブル江之島）に隣接する旧テニスコートを調整池として利用し、現状を改善する。
内容	<p><b>1 工事内容</b></p> <p>浜松福祉協働センター（アンサンブル江之島）に隣接する旧テニスコート南側に雨水が溜まる構造にすることにより、南区役所一般来庁者用駐車場から調整池機能を移転する。</p>  <p> <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: #cccccc; border: 1px solid black; margin-right: 5px;"></span> …冠水部分             <span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: #ffff00; border: 1px solid black; margin-left: 20px; margin-right: 5px;"></span> …調整池             <span style="margin-left: 20px;">※雨水の流れ</span> <span style="margin-left: 20px;">→ …施工後</span> <span style="margin-left: 20px;">- - - → …施工前</span> </p>
	<p><b>2 事業費</b>      18,200千円</p>

項目	龍山協働センター建設事業				天竜区役所 ----- 区振興課	
	24 事業費 (千円)	内容 (千円)	役務費	委託料	工事請負費	
	31,200		800	8,700	21,700	

目的	老朽化が著しく、耐震性の低い龍山地域自治センターを解体し、地域の拠点として龍山協働センターを新築する。																																
背景	龍山協働センター建設中の仮移転先として龍山地域自治センター西側のJA遠州中央農協龍山支店倉庫を整備し、移転する。																																
内容	<p>1 平成24年度事業内容</p> <p>龍山地域自治センター解体事業 (設計・工事)</p> <p>龍山協働センター建設事業 (設計)</p> <p>仮事務所の整備及び移転経費等</p> <p>2 事業費 31,200千円</p>																																
	<p>3 スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>龍山地域自治センター解体設計</td> <td>●→ H24.6~8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>龍山地域自治センター解体工事</td> <td>●→</td> <td>H24.11~H25.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>龍山協働センター建築設計</td> <td>●→</td> <td>H24.6~H25.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>龍山協働センター建築工事</td> <td></td> <td>●→</td> <td>H25.6~H26.2</td> </tr> <tr> <td>事務所移転</td> <td>●→ H24.10</td> <td>●→</td> <td>H26.3</td> </tr> <tr> <td>供用開始</td> <td></td> <td></td> <td>●→ H26.4</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H24	H25	H26	龍山地域自治センター解体設計	●→ H24.6~8			龍山地域自治センター解体工事	●→	H24.11~H25.2		龍山協働センター建築設計	●→	H24.6~H25.2		龍山協働センター建築工事		●→	H25.6~H26.2	事務所移転	●→ H24.10	●→	H26.3	供用開始		
区分	H24	H25	H26																														
龍山地域自治センター解体設計	●→ H24.6~8																																
龍山地域自治センター解体工事	●→	H24.11~H25.2																															
龍山協働センター建築設計	●→	H24.6~H25.2																															
龍山協働センター建築工事		●→	H25.6~H26.2																														
事務所移転	●→ H24.10	●→	H26.3																														
供用開始			●→ H26.4																														